

**製品名: TMEPAI ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19059**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PMEPA1 STAG1 TMEPAI
別名	Transmembrane prostate androgen-induced protein (Solid tumor-associated 1 protein)
遺伝子 ID	56937.0
SwissProt ID	Q969W9
免疫原	アミノ酸配列範囲 240-287 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

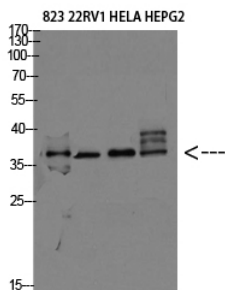
この遺伝子は、Smad 相互作用モチーフ (SIM) を含む膜貫通タンパク質をコードしています。この遺伝子の発現はアンドロゲンおよび形質転換成長因子  $\beta$  によって誘導され、コードされているタンパク質は Smad タンパク質との相互作用を介してアンドロゲン受容

体および形質転換成長因子 $\beta$ シグナル伝達経路を抑制します。この遺伝子の過剰発現は、複数の種類の癌において役割を果たす可能性があります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011年12月]、ドメイン：WW結合モチーフはNEDD4との相互作用を媒介します。、誘導：アンドロゲンによる。、類似性：PMEPA1ファミリーに属する。、サブユニット：NEDD4のWWドメインと相互作用する。、組織特異性：前立腺で最も発現が高く、卵巣でも発現します。、

## 研究分野

シグナル伝達; 成長因子/ホルモン; ホルモン

## 画像データ



823 22RV1 HELA HEPG2 細胞ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は 1:2000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。